

## 今春の降霜・降雹による農作物等の被害への対応

被害額（令和3年8月31日現在） 137億円（うち降霜：130億円、うち降雹：7億円）

- 令和3年4月から6月までの凍霜害・雹害を受け、被災農業者の営農意欲の低下防止、農業生産の維持・向上を図るため、6月2日に市町村・JAグループと連携・協調した支援策「凍霜害・雹害緊急対策パッケージ」を発動
- その後、さくらんぼにとどまらず幅広い農作物に被害が拡大していることが判明したことから、支援策を拡充・強化

	総事業費	うち 既決対応額	うち 9月補正
<b>1 農林漁業天災対策資金</b>	<b>2百万円</b>	<b>1百万円</b>	<b>1百万円</b>
・肥料・農薬の購入費等の運転資金を原則無利子で融通（融資枠：2.5億円）	1百万円	1百万円	-
・資金の借入れ時に農業者が負担する保証料を無償化〔新規〕	1百万円	-	1百万円
<b>2 農林水産物等災害対策事業</b>	<b>3百万円</b>	<b>3百万円</b>	<b>-</b>
・被害を受けた農作物に必要な肥料・農薬の追加購入を支援	3百万円	3百万円	-
<b>3 気象災害等対策生産資材緊急支援事業【新規】</b>	<b>311百万円</b>	<b>-</b>	<b>311百万円</b>
・減収率50%以上の被害を受けた生産者の営農継続に向けた肥料・農薬の購入費相当分を支援	311百万円	-	311百万円
<b>4 気象災害等対策追加労力緊急支援事業【新規】</b>	<b>12百万円</b>	<b>-</b>	<b>12百万円</b>
・出荷量が平年比50%を下回った生産者の選別作業等の掛かり増し労賃を支援 〔 政府による支援（下記参照）の対象にならない品目を対象 〕	12百万円	-	12百万円
（参考：政府による支援） 自然災害被害果実加工利用促進等対策事業 ・出荷量が平年比50%を下回った生産者の選別作業等の掛かり増し労賃を支援 品目：生食用果実（おうとう、りんご、ぶどう、なし、かき等） ※このほか、果樹の新植・改植への支援制度あり			
<b>5 気象災害対策施設整備等緊急支援事業</b>	<b>118百万円</b>	<b>88百万円</b>	<b>30百万円</b>
・農業用ハウスの新設、気象災害対策設備の導入等を支援	118百万円	88百万円	30百万円
※1～5のほか、高品質の生産出荷に向けた栽培管理等の技術的指導を実施			
<b>合 計</b>	<b>446百万円</b>	<b>92百万円</b>	<b>354百万円</b>

※単位未満の端数処理のため、合計と内訳が一致しない場合がある